

# 仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



いつもご覧いただきありがとうございます。

今回の更新で29回目となりました。

100万人の防災!

「生き残り」「生き延びる」ための地震対策を始めましょう!

## ■ 岩手・宮城内陸地震

平成20年7月4日掲載

平成20年6月14日午前8時43分ごろ震度6強の揺れが宮城県を襲いました。

この地震で宮城県栗原地区・花山地区では大規模な土砂災害が発生し、尊い命が失われ、多くの負傷者と多大な損害が発生しました。

亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、未だ行方の分からない方が発見され、いち早い復旧と復興がなされることを祈念します。

さて、仙台にお住まいの皆さん、この地震は宮城県沖地震の前哨戦です。地震の恐怖が一段落したら、もう一度周りを見渡してください。

まず、揺れが治まった後、散乱していた「物」、倒れてきた「家具」です。たまたま、今回は人的被害・大きな被害が無かっただけです。「そのまま物を元に戻す。」「元どおり家具を立て直す。」だけでは、次はあなたを襲う凶器になるはずです。

地震対策にはイメージが大切であることをお話しております。



※繰り返しですが、新潟県中越地震での家の中での被災状況を掲載します。

そこで。

最近の講座で、地震対策をイメージする簡単な方法をお話しています。

「寝転んで分かる地震対策です。」

約1.5m



消防局の玄関ロビーに設置してある家具モデルです。

横から見ると高さは1.5mほど、しかし、倒れてきたときのイメージはしづらいのではない

「寝そべって、見上げると」



恐ろしさを感じませんか？  
こんな風景が枕元や食卓の脇にあると…。  
寝ているとき倒れてきたら……。

こんな風に見上げると、倒れてくる家具や落ちてくる物など、疑うものが浮き出て、何かから対策を施さなくてはならないか、一目瞭然ではありませんか。

対策する部屋は？

多くの皆さんは一日の大半(1/3の8時間程度)を寝室で過ごされるでしょう！次にリビング・台所などではないでしょうか。

いつもいる場所を最優先に考え、納戸や裏座などは余裕が出来たら。と考えたら対策を施す手も軽くなりませんか。

このページを読んだら、すぐ、寝そべってください。  
地震対策をしたくなってきましたか？

対策を施した寝室でぐっすり休んで宮城県沖地震に備えましょう！